

ライブラリーニュース

No.8 2月号

担当図書委員 1-8 清久 瀬戸 1-7 坂本

○春休み中の図書館

春休み中の3/25~4/7図書館は利用者アカウントの整理や館内整備のため閉館します。
3/24の終業式は17時まで開館しているので、春休み中に読む本をたくさん借りてください。
現在最大15冊まで借りられます。

○朝日けんさくくんを紹介します

「朝日けんさくくん」は朝日新聞の記事を日付やキーワードから検索し、実際の新聞記事と同じ画像で印刷できるデータベースです。新聞記事は1984年から本日のものまで閲覧できます。小論文を書くのに役立つ「天声人語」や「社説」も本日分から閲覧でき、大変便利です。図書館で貸し出ししているipadから利用できるのも、新年度からぜひ、受験対策や日々の学習に役立ててください。

また同じ夢を見ていた

著：住野よる 出版社：双葉社

主人公である小学生の女の子「奈ノ花」が学校の国語の授業で課された「幸せとは何か？」の答えを見つけるために、不思議な三人の女性の下でヒントをもらって行くお話です。幸せについて考えたい人におすすめの一冊です

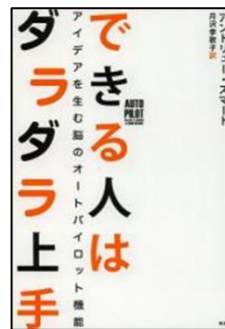


できる人はダラダラ上手

著：アンドリュー・スマート

訳：月沢季歌子 出版社：草思社

何もしないことがいつから悪いことになったのか。何もしないことが脳にどんな影響があるのか。などのメリットなどが9章にわたり書かれています。この本を読めば本当に自分がしなきゃいけないことが見えてくる本です。



逆ソクラテス

著：伊坂幸太郎 出版社：集英社

私たちが持つ先入観を切り崩し世界をひっくり返す五つの物語の主人公たち。どれも最後はどんでん返しの結末に…。とても読みやすいので手に取って読んでみてはいかがでしょう。埼玉県高校図書館司書のイチオシ本4位!!



一年八組担任 樋口美喜先生のおすすめの本を尋ねてみました

「きよしこ」

著 重松 清 出版社：新潮社

主人公のきよしは「カ行」と「タ行」が上手く話せない。父親の仕事の関係で、転校を繰り返し、そのたびにからかわれていた。両親にも自分の思いをうまく伝えられないきよしには、友達がいた。名前は「きよしこ」空想の中の友達だった。きよしこはうまく思いを伝えられないきよしにアドバイスをくれる。「ほんとうに伝えたいことだったら、伝わるよ、きっと。」と

きよしのことを理解し、言いたいことを察してくれる人たちもいた。仲間もできた。きよしはいろいろな人との出会いと別れの中で、「吃音」という自分の現実と真剣に向かい合う。人のやさしさや勇気を出すこと、自分自身と闘うことの大切さを教えてくれる一冊である

